



①国内の自動車メーカーすべてに、部品を納品しています。大量生産が出来るメーカーとしても認知されています。バイク部品、産業用の部品も製造。②一般向けの商品は初めて。「パッケージの箱もゼロから製作しました。」と品質保証部の鈴木浩さん。③鋳型の中に入っているワックスに熱を加えて溶出します。④金属を溶解し、鋳型へ注ぎます。比重が試される職場です。



上質ないいものを創造する  
山形の職人的ものづくりを  
このマークで伝えていきます。

ヨミウリウェイでは「山形のいいもの」モニター商品にまつわるストーリーを5回にわたり掲載しました。

## 山形県産品ポータルサイト 「いいもの山形」 がリニューアルしました

「山形のいいもの」バックナンバーはこちらから見るができます

※モニター募集は締め切りました。  
モニターの方が実際に使ってみての感想、使い方の提案などの生の声をホームページで紹介いたします。ご期待ください。

■お問合せは

山形のいいものモニター  
キャンペーン事務局

0120-23-1156

受付時間：平日 10:00～18:00

山形県



水を入れたコップや皿に花器を置き、様々なサイズの穴に植物を差します。植物をたくさん入れ、花器を隠してもいいし、美しい花器をあえて見せるのもいい。ステンレス製で錆びませんから、ソープディッシュなどにも使えます。商品は他に、水のまち長井をイメージした「水面」、底の部分に魚が泳ぐアクセサリーケースも完成しました。

山形精密鑄造(株)

長井市成田768-2 TEL.0238-84-3500

1700℃の金属から  
たおやかな花器ができました。



こでまりとグリーンベルが  
いけてある左側の商品が  
「あやめの茎 stalk of ayame」、時計まわりに  
「水面 accessory case」  
「水面flower stand」「水  
面soap dish」

モニター商品 5名様

あやめの茎 stalk of ayame  
2,800円(税別)

山形のいいもの  
#5 (最終回)

花器 山形精密鑄造(株)

真紅に燃えたぎる液体となった金属が、特殊な型に注がれています。すべての国内メーカーに自動車の部品を納品している山形精密鑄造。複数の部品を一体化させたロストワックス精密鑄造を得意とし、大量生産が可能な技術を確立しています。花器をつくるきっかけとなったのは「自社で製造できるもので欲しいものはないか」と社内で行った創立30周年の社内アンケートです。何とか実現したいと山形県工業技術センターに相談。所在地である長井市の花、あやめの茎をモチーフに、デザイン化しました。2〜3mmという細い部分に金属がうまくまわらず、試行錯誤をしましたが、プレスや板金ではできない、細かさとうねりを表現した商品となりました。